

「4 月度研修会 / 先端研」報告

修習技術者支援実行委員会 委員補佐
後藤 充弘 修習技術者(電気電子部門)

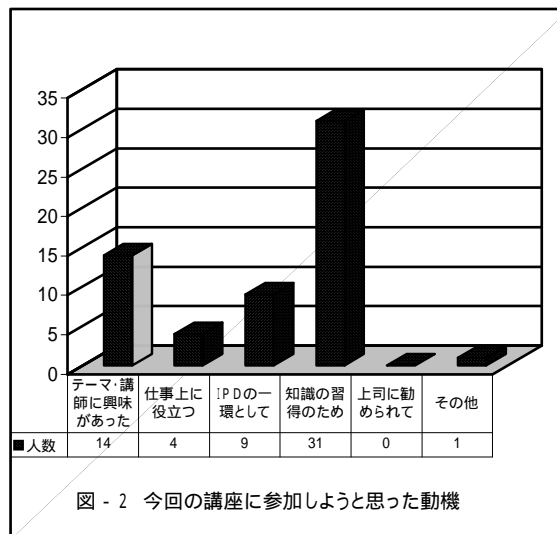
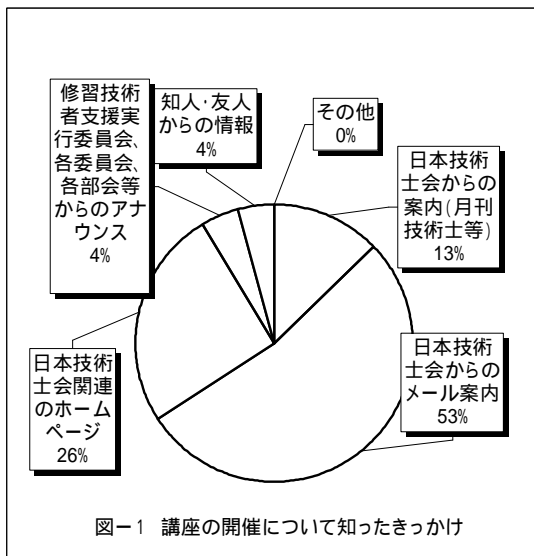
1. 研修会概要

日時 平成 22 年 4 月 10 日 (土)
13 : 00 ~ 20 : 00
主催 社団法人日本技術士会
修習技術者支援実行委員会
会場 日本技術士会荻手第二ビル 5 階

2. 研修会の内容

開催説明・講師紹介 修習技術者支援実行委員会	13:00 ~ 13:10 佐伯 佳美
講演 「水道分野の国際協力」 国際協力機構 国際協力専門員 (上下水道部門)	13:10 ~ 14:00 山本 敬子氏
講演 「建設技術者の海外での業務」 埼玉県技術士会会長(建設部門)	14:05 ~ 14:55 小野寺 昭夫氏
休憩	14:55 ~ 15:10
講演 「グローバルエンジニアを目指して」 修習技術者支援実行委員会顧問 (建設部門)	15:10 ~ 16:00 松本 正人氏
休憩	16:00 ~ 16:10
第 273 回先端複合技術研究会 司会	16:10 ~ 18:00 高橋 康朗
情報交流会	18:00 ~ 20:00

3. 研修会の参加者



今回の出席者は 52 名で、参加のきっかけは図 - 1、参加の動機は図 - 2 にそれぞれ示すようなアンケート結果であった。

4. 研修会状況について

今回の研修会の課題は基本課題「専門技術能力」～「新しい時代の技術者」及び個別課題『国際的に活躍する技術者』であり、講師の方々から貴重な具体的事例をいろいろと紹介して頂いた。



写真 1 : 研修会の状況

◆ 講演 について

山本氏は主に JICA 専門員として発展途上国の水道・衛生分野でご経験されたことからご自身の事例をご紹介頂いた。質疑応答では、JICA 専門員の資格や現地での調整・指導能力といった事柄について 4 名の受講者からの質問にご回答頂いた。



写真 2 : 山本氏の講演状況



写真 4 : 松本氏の講演状況

◆ 講演 について

小野寺氏は建設会社勤務時代から現在のコンサルタント会社での活動を通しての海外での業務経験から、その業務の特徴などに関してリスクマネジメントを中心に講演頂いた。質疑応答では、3名の質問に対して、海外経験では日本では得られないような喜びを得たことなどを語られた。



写真 3 : 小野寺氏の講演状況

◆ 講演 について

松本氏には国際的なご経験およびそれを現在の業務にどのように活かしているかなど、人脈や語学力といったキーワードを柱に具体的なアドバイスも含めてご紹介頂いた。時間の関係で質疑応答はできなかったが、情報交流会にご出席頂けた。

5 . 先端複合技術研究発表会

技術士の酒井孝壽氏(機械)、修習技術者の藤井由実氏(応用理学)及び笠松功氏(建設)の3名の発表が行われ、積極的な質疑応答が行われた。

酒井氏は「マイクロ水力発電と省エネ技術でECO社会を実現」と題して、自身の業務からの具体的な実例を紹介してくれた。質疑応答では酒井氏が感心するような事柄を含め6名の質問に回答した。

藤井氏は「電波望遠鏡とそれに使われるSIS素子」と題して、自身が係わるプロジェクトの概要から具体的業務の内容まで盛りだくさんに述べられた。そのためか、プレゼンの構成についてのアドバイスを含め10名ほどの質問があった。

笠松氏は大学の卒論から「屋久島におけるタンカン畑の景観について」と題して発表した。3名との質疑応答が行われた。

6 . 情報交流会

情報交流会と称して、いつものように研修会終了後に会議室で懇親会を行った。今回も多くの方の参加を得ておおいに賑わった。

以上